

ため池管理者が現地からため池の点検報告を行うための 「ため池管理アプリ」

研究のポイント

- ため池管理者(ため池を管理している農家等)が、ため池現地で災害時の緊急点検や平常時の日常点検を行政に報告するためのスマートフォンアプリです。
- 本アプリを用いることにより、ため池管理者と行政が連携して、災害時の被害情報の共有や施設の管理を実施することができます。

研究の背景

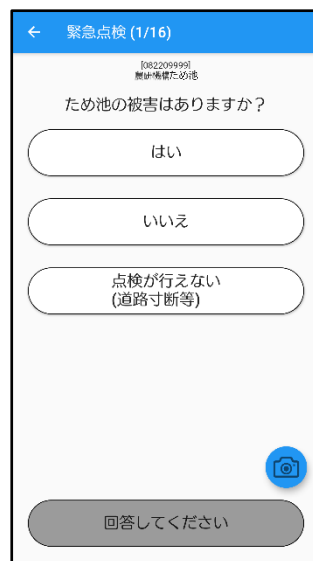
- 地震、豪雨時にため池の被害状況を報告することが義務付けられていますが、ため池の多い市町村では、市町村の担当者だけでは点検に膨大な時間を要するため、ため池管理者の協力が必要になっています。

アプリの特徴

- 高齢なため池管理者でも簡単に操作できるように、一問一答形式で、「はい」または「いいえ」を選択するだけで点検報告できます。
- 山奥のため池で電波が届かない場合や災害時に通信ができない場合にも、現地でアプリに入力しておけば、通信が回復した時点で自動的に報告が送信されます。
- 地震や豪雨が発生してため池の点検が必要になると、アプリに、点検依頼のプッシュ通知が送信されます。また、台風が近づいているときなど、ため池の監視等に注意が必要な場合には、都道府県庁から、注意喚起のプッシュ通知をアプリに送信できます。

活用例と効果

- ため池に最も近い場所にいるため池管理者から点検報告を受けることにより、災害時のため池の緊急点検にかかる自治体の負担を大きく軽減できます。
- アプリのプッシュ通知機能を使って、ため池管理者に通知を送れるため、毎年のため池管理者登録にも便利に用いることができます。



ため池管理アプリ (MEAP) の操作方法

https://www.naro.go.jp/laboratory/nire/contents/tameike_manual/index.html